

全国一般大阪

2017年
11月10日
NO.692

全国一般大阪地方労働組合
大阪市東成区中道3-2-34
TEL 06-6977-9381
FAX 06-6977-9382

2017年末一時金要求回答状況(11/10現在)

| 組合名 | 要求額 | 月数 | 回答額 | 月数 |
|---------|-----------|------|---------|------|
| さかえ清掃 | 758,747 | 2.55 | 743,870 | 2.5 |
| 常陽興業 | 743,572 | 2.55 | 728,993 | 2.5 |
| 泉都興業 | 693,205 | 2.55 | 679,613 | 2.5 |
| S Y C | 836,959 | 2.55 | 804,768 | 2.5 |
| 羽曳野委託清掃 | 684,713 | 2.50 | 657,324 | 2.4 |
| 日光産業 | 666,748 | 2.55 | 653,675 | 2.5 |
| 金岡興業 | 785,086 | 2.55 | 769,693 | 2.5 |
| 河内長野清掃 | 473,400 | 3.0 | 473,400 | 3.0 |
| 永大産業 | 648,893 | 2.5 | 500,945 | 1.93 |
| 前川 | 501,600 | 2.0 | 426,360 | 1.70 |
| 日照 | 459,769 | 1.88 | 181,250 | 0.74 |
| 電子専門学校 | 1,271,713 | 3.0 | | |
| サンビー | 953,532 | 3.0 | | |
| 西部ゴム | 779,100 | 3.0 | | |
| 言語交流研究所 | 946,725 | 3.0 | | |
| サンプラザ | 370,392 | 1.5 | | |
| トーエー産業 | 1,005,000 | 3.0 | | |
| レナウン | 600,000 | 2.0 | | |
| 都島自校 | 600,000 | | | |
| CSCサービス | | 2.5 | | |
| 大和証券 | | 3.0 | | |
| 平均 | 774,138 | 2.64 | 612,453 | 2.22 |

全国一般大阪は第58回定期大会開催(9・30)以降、10月25日、第1回執行委員会を開催し、運動方針の具体的な一歩として2017秋季年末闘争などの方針の具体的なとりくみを決定した。その後、拡大書記局会議(11・1)、拡大五役会議(11・11)を開催し、当面の日程、とりくみの具体化などを確認していく。

秋季年末一時金のとりくみ状況は、春及び夏に年間決定している組合と年末闘争でとりくみをすすめる20組合支部(11・10現在)の要求回答状況は、要求額774、138円(2・64カ月)と生活実感を反映した要求となっている。また、諸要求も定年延長・無年金問題やパートなどの非正規労働者の処遇改善とともに、要員増などがなされている。

また、全国一般評議会が毎年実施している2018春闘要求にむけたとりくみとして、賃金・労働条件実態調査と生活アンケート調査を行い、この調査結果を来春闘要求へ生かし、来春闘では、連合も5年連続の賃上げ要求を基本にした方針でとりくんでおり、全国一般評議会や全国一般大阪もこうしたなかで方針論議を進めていく。

秋季年末闘争に奮闘しよう！ 第1回執行委員会開催！

ユニオンおおさか2018年度
定期大会開催！



各組合においては、9月から11月にむけて職場の定期大会が開催、予定されている。9月(日)本工業試験所、言語交流研究所、前川、アイエスケー、金岡興業労組、10月(日光産業、永大産業、SYC、委託連合、ユニオンおおさか、電子専門学校労組)、11月(電子専門学校労組第40回記念大会、ハイウェイ管制労組)開催し、1年間の活動総括、向こう1年間の運動方針、新役員体制を確立してとりくんできた。

組織強化拡大、未組織労働者の課題では、この1年間には、労働相談135件超に対応し、ユニオンおおさかCSCサービス支部など多くの加盟がなされた。一方で、経営側の組合つぶし攻撃は後を絶たない状況となっている。サンプラザ労組では地裁・労働委員会闘争で、昨年からの今年にかけて地裁勝利判決や勝利命令が相次いで出された。また、パート契約問題(12号事件)は命令待ちであり、39号(定年雇用継続)事件は審問がなされている。昨年9月に加入した藤川ハガネ支部の闘いは、地裁で和解が大詰めを迎えている。今年3月、新たに金岡興業労組が、定年継続雇用問題で提訴した。こうした、地裁・労働委員会闘争の支援を引き続き要請するとともに、生活確保にも生きたる確実な賃金増に闘争に奮闘しよう。

冒頭、道脇委員長は、大義のない解散総選挙の結果如何によっては、改憲の可能性につながる。今年7月には30周年記念集会を開催し、多くの仲間の参加で成功裏に終えた。2017年度は130件超もの労働相談と60名余の仲間の加入があった。また労働法制改悪など労働組合にとって重大な課題があることなど諸課題を提起した。木下書記長は総括・運動方針案において、安倍政権による改憲、「働き方改革」の名による労働法制改悪に反対するとりくみを提起した。組合づくりが困難な中、いかに労働者が仲間をつくり支部を立ち上げ闘うのか、多くの支部を立ち上げたが、定着させるかが課題である。30周年記念集会の成功を機に、2018年度をユニオン運動の飛躍の年にすることを訴えた。

岸田会計が会計報告と予算案を提起し議案はそれぞれ採択された。質疑・討論では、結成・加盟した組織の継続性、定着性が求められており課題となった。職場報告では、マルカミ、都島自動車学校、藤川ハガネ、ANAビジネス支部などが闘いの報告を行った。裁判・労働委員会闘争では、大和証券、ケイ・スタッフ、藤川ハガネ支部の仲間が報告と支援のお礼を述べて3つの支部に対して、争議支援カンパを行った。最後に、田村副委員長が組合運動を通じて人間的な成長を図ろうなど組合員の心構えなどを提起、閉会の挨拶とし、西畑執行委員の音頭で団結ガンバロウを三唱して終えた。

その後、ユニオンの参加者は、CSCサービス支部(5名)も加わり、場所をかえて交流会を開催し親睦を深めた。

もんじゅ廃炉全国集会に参加！



11月5日午前9時、大阪地方労組集合！ 福島委員長・日工試労組小野里さん・日光労組本田さん・道脇さん・藤原の5名、日光労組の本田さんの運転で福井県へ向けて出発！3連休の最終でありながらも途中休憩をまじえ約3時間集会所の福井県国際交流センターに到着。300名しか入ることが出来ない集会所に400名が結集し、もんじゅ廃炉集会が始まりました。今回、私には耳なじみのない『減容』という言葉について書かせて頂きます。『減容』とは放射性廃棄物の体積を減らすというものです。減らす対象はマイナーアクチノイドと言われるもので、成分が半減するまでに要する期間(半減期)は200万年と言われるネプツニウム、7300年のアメリカシウム。これらを高レベル核廃棄物から分離してプルトニウムと共にMOX燃料に組み込み中性子を当てることで半減するまでの期間(半減期)約300年短いものにするというものです。

途中ですが、MOX燃料とは混合酸化燃料の略称であり、原子炉の使用済み核燃料中に1%程度含まれるプルトニウムを再処理により取り出し、二酸化プルトニウム(PO2)と二酸化ウラン(UO2)とを混ぜてプルトニウム濃度を4〜9%に高めた核燃料であります(ウイキペディアより引用)。

これもまた怖いお話で、核燃料中に1%程度含まれるプルトニウムを再処理により取り出しという話は……原子力発電所を廃炉にするつもりがあるのか……？ ちよつとお話が反れてしまったので、元に戻して、核燃料を約7分の1にした上に半減期を200万年から300年に減少させると政府は言っていますが、文科省は核燃料を7分の1に減らせる根拠を示せませんでした。むしろ専門家は人体により有害な核種(セシウムやストロンチウム)が新たに増え際限なく増加すると指摘しておりした。最終、私の中で出た結論は、政府は原子力発電所を廃炉にしない！という事でこれから真の廃炉を求めて活動を続けていきたいと思う今日この頃です。

最後に……3連休最終日という事で帰りは5時間という長いテールランプの中



二〇一八年度労働委員・審判員研修会開催

自治労は、10月31日、自治労会館で労働委員・労働審判員研修会を開催した。全国から自治労と全国一般出身の労働委員、労働審判員が結集して講演と討論を行い議論を深めた。全国一般大阪から木下執行委員が参加した。解雇の金銭解決をめぐって自治労の岡田弁護士が、労働委員会の動向をめぐって全国一般三木副議長が、また個別労使紛争について連合の労働法制対策局の古賀氏が講演し、質疑討論が行われた。次に労働委員と労働審判員とに分かれて分科会が行われた。分科会では弁護士から労働審判の中で審判員の発言が少なく、弱いとの苦言も呈される中、労働審判の在り方について活発な討論がかわされた。

9条改憲を許さない大阪総がかり行動

日本工業試験所労働組合 書記長 小野里 智
「安倍政権による憲法改憲に反対の声をあげよう」



11月3日 午後2時から中之島芝生広場(剣崎公園)で、衆議院選挙後初めての大きな集会が開かれました。課題は、安倍政権・与党による憲法改憲に改め「ノー」の声をあげることです。集会場には、自治労をはじめ多くの労働組合、市民が集まり2万人(主催者発表)に膨れ上がりました。自民・公明・維新などという憲法改憲を公言する政党が、国会の三分の二を占める状況に危機感を抱き、今こそ「改憲ノー」の声を大きく上げていこうと集まってきた方ばかりです。

当日のゲスト・評論家の佐高信さんは声を張り上げて「自民に天罰を、公明に仏罰を、維新に神罰を」とユーモアを交えたトークで会場を盛り上げてくれました。そして、政党代表で共産党、立憲民主党、社民党、自由党の方がそれぞれ衆院選の結果を報告し、さらに今後も野党共闘を強化して安倍首相の憲法改憲を許さないという決意を述べられました。会場の全員で「戦争アカン」「憲法壊すな」と大書されたポテッカードを掲げて声をあげ、改憲に反対する気持ちを高めあいました。その後、各市民運動の代表の連帯発言を受けて、「団結がんばろう」と3コースに分かれてのデモ行進です。全国一般は、北新地を経て西梅田公園まで、参加したみなさんと元氣よく声をあげ、街行く人々に、「一緒に改憲に反対しよう」と呼びかけてきました。

安倍政権は、先日来日したトランプ大統領と日米の関係強化をうたいあげました。北朝鮮のミサイルを口実として、日本もアメリカとともに参戦するような大変危険な空気がつくられています。しかし、ひとたび朝鮮半島で戦争が起これば、戦争に動員され、被害に苦しむのは、私たち労働者です。私は、安倍政権が北朝鮮を軍事攻撃

したり、そのために憲法を改悪するなど絶対にあつてはならないと思います。私たちも、全国一般に結集する各単組・ユニオンから「憲法改憲反対」の運動をさらに大きくつくっていかねばなりません。全国一般の組合員のみなさん。ともに頑張りましょう。

第54回護憲大会に参加して

全国一般大阪執行委員 木下 進



10月28日〜30日、東京の教育会館などで護憲大会が開催され、私ははじめて参加させてもらいました。今年の護憲大会は、北朝鮮をめぐる戦争の危機が深まる中「東アジアの平和のために、今こそ！憲法理念の実現をめざす第54回大会」というメインスローガンを掲げて開催され、全国から750名が結集し熱い討論をくりひろげました。

「東アジアの平和と日本」と題するパネルディスカッション(メイン企画)、憲法など7つの分科会、そして基地問題をめぐる交流会などを通じて、改憲や戦争の危機を前にして日本の平和運動をどう進めるのかを問う護憲大会になりました。特にパネルディスカッションは、和田春樹さん、前田哲男さん、伊波洋一さんが講演し石坂浩一さんがコーディネーターとするかたちで進められ、パネラーがそれぞれ米朝戦争が勃発する危険性、日本を含めた戦争被害の深刻さ、戦争をさせない取り組みの必要性を訴えました。私も、講演を聞いて危機感を強くし、「非核・平和・安全保障」の分科会で、戦争の危険性を国民に訴えるなど戦争をさせない取り組みを強化する立場から意見・質問をしました。前田哲男さんは国民も自衛隊も戦争をのぞんでいない、今なら間に合う大衆運動を通じて戦争は止められと訴えていました。

護憲大会では、核廃絶に取り組み「高校生平和大使」など高校生を取り組み、全国各地での米軍や自衛隊の基地建設や演習に反対する取り組みも報告されました。そして、最後に集会アピールを採択し「安倍9条改憲NO!」^{3000万}筆署名運動を全国市民アクションとして取り組みなど憲法改憲阻止に向けて総力をあげること全体を確認しました。

関西ブロック一斉

連続労働相談

1. 駅頭情宣行動

- (1) 日時 11月14日(火) 18時半
- (2) 場所 JR京橋駅
- (3) 参加 全組合対象 (多くの仲間の参加を)

2. 労働相談対応

- (1) 日時 10~18時 11月17日(金)~18日(土)
- (2) 場所 地本事務所
- (3) 対応 全国一般大阪執行部

当面のスケジュール

《2017年11月》

- ・11/11(土)14:00 拡大五役会議 全国一般大阪事務所
- ・11/12(日)13:30 自教労協第29回総会 愛知
- ・11/13(月)18:30 府本部単組代表者会議 P L P 会館
- 19:00 サンプラザ労組第5回大会 富田林市民会館
- ・11/14(火)18:30 労働相談駅頭情宣 J R 京橋駅周辺
- ・11/17(金)13:00 常陽興業労組大会 サンスクエア堺
- 17:00 都島自動車学校支部団交 職場
- 18:30 青年部幹事会 全国一般大阪事務所
- ・11/17~18 10:00 関西ブロック連続労働相談 全国一般大阪事務所
- ・11/20(月)18:30 全国一般大阪第2回執行委員会 全国一般大阪事務所
- ・11/21(火)17:30 日照労働組合団交 職場
- ・11/24(金)11:00 全国一般評議会四役会議 自治労会館
- 19:00 青年部第16回定期大会 全国一般大阪事務所
- ・11/25(土)15:00 第47回中小労働運動セミナー 全国一般大阪事務所
- 18:00 ユニオンおおさか執行委員会 全国一般大阪事務所
- ・11/27(月)16:00 連合大阪市内協幹事会 エルおおさか
- ・11/29(水)18:30 第1回組織強化拡大委員会 全国一般大阪事務所

《2017年12月》

- ・12/01(金)11:30 ケイスタッフ支部弁論 大阪高裁
- 18:30 済生会病院支部団交 職場
- ・12/04(月)15:30 関西ブロック幹事会 全国一般大阪事務所
- ・12/05(火)11:30 大阪トヨタ商事支部弁論 大阪地裁
- ・12/08(金)10:00 A N A ビジネス支部第1回あつ旋 大阪府労働委員会
- ・12/10~11 13:00 全国一般評議会2018春闘討論集会 自治労会館
- ・12/12(火)11:30 サンプラザ不払い弁論 大阪地裁
- ・12/13~14 13:00 自治労2018春闘討論集会 T O C 有明
- ・12/16(土)13:30 全国一般大阪第3回執行委員会 全国一般大阪事務所
- ・12/17~18 14:00 連合近畿ブロック2018中小労働運動推進会議 ホテルラントマーク和歌

地裁・労働員会日程

- ◇サンプラザ労組
 - ・第4次救済申立(12号事件労働契約) 2016/3/10
 - ・併合事件(15、61号)救済命令 2016/5/09
 - ・6~7号 救済命令 2016/7/01
 - ・39号申立(定年継続雇用) 2016/7/28
 - ・12号最終陳述書提出(命令待ち) 2017/3/28 (8/2資格審査提出)
 - ・7号行訴判決(勝利判決)→会社控訴 2017/6/12
 - ・7号控訴審和解 2017/11/15 14時
 - ・39号第3回審問 2017/11/20 13時
 - ・不払い地裁弁論和解 2017/11/28 10時半
 - ・7号控訴審判決 2017/12/20 13時
- ◇金岡興業労組
 - ・地位確認訴訟提訴(堺支部) 2017/3/3
 - ・第5回弁論 2017/11/27 15時
- ◇ケイスタッフ支部
 - ・尼崎支部地位保全仮処分申請 2015/3/12
 - ・地位保全本訴提訴 2015/3/13
 - ・最終弁論 2017/3/14
 - ・敗訴判決 2017/7/4
 - ・高裁第2回控訴審 2017/12/1 10時半
- ◇大阪トヨタ商事支部
 - ・本訴提訴 2015/10/23
 - ・第10回弁論 2017/12/5 11時半
- ◇藤川ハガネ支部
 - ・地位保全仮処分申立 2016/10/24
 - ・債務不存在確認訴訟(会社) 2016/10/28
 - ・不当労働行為救済申立 2017/1/19
 - ・債務不存在弁論和解 2017/11/15 16時
 - ・仮処分弁論和解 2017/11/15 16時半
 - ・救済申立第2回審問 2017/12/21 10時